

週刊 タバコの正体



朝日新聞DIGITAL apital サイトから

タバコに含まれるニコチンが脳に達するとドーパミンという物質が発生します。このドーパミンは人に快感をもたらすので、この快感を求めてタバコを吸い続けてしまいます。つまり、喫煙者はニコチンに依存しているという事です。

そこで、左図を見てください。じつは覚せい剤を吸引して快感を得るのもドーパミンが関係しています。なんとタバコを吸って快感をえるのと同じ仕組みなのです。

それに、ニコチンは下記にあるように覚せい剤と同じような薬物であるヘロインやコカインと比べて、依存症になる度合いが強く、やめるのも難しいとされています。

「じゃあー、タバコってすごく危険じゃないの？」と思いませんか。覚せい剤は「覚せい剤取締法」で所持しているだけでも罰せられるのに、タバコは「未成年者喫煙禁止法」で未成年者の喫煙が禁止されているだけで、成人であれば誰でも購入することができるほど自由に販売されています。

どうしてでしょうか。続きは次回……

産業デザイン科 奥田 恭久

●各使用者の中で依存症になる人の割合

ニコチン > **ヘロイン** > **コカイン** > アルコール > カフェイン

●依存症になった人での禁断症状の強さ

アルコール > **ヘロイン** > **ニコチン** > **コカイン**



●依存症になった場合の止めることの難しさ

アルコール > **ニコチン** = **ヘロイン** = **コカイン** > カフェイン